

第7回広島県障害者ボッチャ競技大会 競技に関する申し合わせ事項及び注意事項

日本ボッチャ協会競技規則に準じ、全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会申し合わせ事項に基づき実施する。

1 競技方法

- (1) 本大会は個人戦で行う。※2エンド制。2エンドが終了して同点だった場合、ファイナルショット制度で行う。
- (2) コールルームでの受付は行わない。投球の順番についてはウォームアップ前に、じゃんけんで行う。
- (3) アナウンス後、5分以上経ってもコートへ入らない場合は、棄権とみなし失格とする。
- (4) 投球はできるが車いすの方向を変えたり、移動したりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタントを1名認める。(試合への介入はできない)
投球することが困難でランプを使用して競技する者にランプオペレーター1名を認める。選手からの指示のない行動や、試合中の選手への声掛けは禁止とする。
※両方が必要な場合は、選手1名につきどちらか1名を認める。
- (5) 試合で使用するボール・ランプは各自で用意する。ただし、持っていない選手は貸出をする。
- (6) ランプ等の競技補助具は受付時に必ず主催者からの検査を受ける。
- (7) 原則としてリーグ戦(立位の部・座位の部)により予選を行い、上位者でトーナメント戦を行う。ただし、参加人数によってはトーナメント戦を行わない場合がある。(3位決定戦は行わない)
- (8) 試合中に緊急事態が起こった場合、5分間のタイムアウトを取ることができる。また審判が認める場合は追加で5分間の延長ができる。しかし10分を超えてもコートに戻らない(戻れない)場合は棄権とする。

2 その他

- (1) 表彰は立位の部・座位の部それぞれ1位～3位に賞状およびメダルを授与する。